



あ し さ と

葦の里 No.18

教育目標「賢く 優しく たくましい 生徒の育成」～地域とともに9か年の学びの中で～

嬉野市立吉田中学校
令和7年12月4日
文責：校長 土岐洋二

○喫煙・薬物乱用は「ダメ・ゼツタイ。」

11月21日(金)の5校時目に、学校医の田中研一先生(田中医院院長)を迎え、1年生に防煙教育を実施しました。喫煙がもたらす害などを、先生にお話しいただき、生徒は様々なことをメモしながら、学びを深めました。振り返りには、たばこをこれから先吸わないことなどに加え、家族など自分の周りの人の健康を気遣う記述が見られました。

生徒のタバコに関するメモから

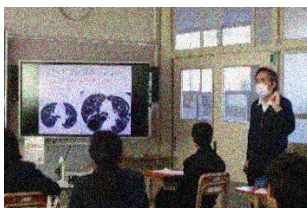
- ・有害物質が200種類ある
- ・一本吸うと、5分30秒寿命縮まる
- ・若いころから吸うと、肺がんになりやすい
- ・生れてくる赤ちゃんにも悪い影響を与える

また、12月1日(月)には、学校薬剤師の佐原正彦先生を迎え、2年生に薬物乱用防止教室を開催しました。事前アンケートの結果から、医薬品を定められた用法・容量を超えて過剰摂取するオーバードーズやエナジードリンクの過剰摂取、タバコなどについてお話しいただきました。また、「オーバードーズをしている友達から相談されたら」をテーマに話し合い活動を行いました。

最近では、若者における大麻の乱用拡大やオーバードーズが特に問題になっています。また、「ゾンビたばこ」の乱用が若年層に広がりつつあることが報道されています。防煙教室で取り扱ったタバコやアルコールなどは「ゲートウェイドラッグ」と呼ばれています。**子どもたちが様々な薬物に決して手を出さないよう「しない、させない、流されない」という意識を育む環境づくり**にご協力をお願いします。

生徒の振り返りより

売ってある薬も使い方を間違えるとあぶないということが分かりました。大麻とかシンナーとかじゃなく身近なものだから気をつけようと思った。



「防煙教室」



「薬物乱用防止教室」

○「誰か」のことじゃない(人権週間)

「全国人権週間」は、世界人権宣言が採択された12月10日の「人権デー」を最終日とする1週間(12月4日～10日)に、全国的に人権啓発活動を強化する期間として設定されています。

世界人権宣言は、第2次世界大戦の反省のもと、人権を守ることが世界平和の基礎であるとの考えから、1948年(昭和23年)12月10日に開かれた国連総会で採択されたものです。日本は、この宣言を具体的にした「国際人権規約」に1967年に批准して、人権の保障の取組を進めています。また、人権週間の取組は、日本では1949年(昭和24年)から始まり、現在に至っています。

本校でも、12月8日(月)から12日(金)までを人権週間に設定し、人権集会やいじめ防止標語の作成などの取組を実施します。また、本校の人権週間に先立って、2日(火)に3名の人権擁護委員の方に来校いただき、広島県の中学3年生がハンセン病問題をテーマに書いた作文の読み語りを行っていました。お忙しい中にありがとうございました。



○小4の皆さんと一緒に(乗り入れ授業)

3日(水)、吉田小4年生と本校1年生が合同の音楽の授業(乗り入れ授業)を実施しました。内容は、「さくらさくら」を箏で演奏し、伝統音楽に親しむことです。最初、中学生が模範演奏をし、その後、中学生から児童の皆さんに箏の演奏方法を教えました。授業の後半には、小学生と中学生がパートに分かれて一緒に演奏しました。また、ゲストティーチャーとして、篠笛奏者をお招きし、和楽器の魅力を伝えていただいたり、陶笛と箏で演奏して音色を全員で楽しんだりしました。

